

# 医療機関の質の高い医薬品副作用報告に向けて

実効性のある対応を取り続けるための方策

**2023年12月23日(土)**

**14:00~17:00**

**配信：オンライン（Zoom Webinar配信）**

配信会場：ミーティングルーム9BTKP品川カンファレンスセンター



登録用URL: [https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_rZH0ARPiSkS2aad1kd1SLg](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_rZH0ARPiSkS2aad1kd1SLg)

## プログラム

司会：日本医科大学北総病院 薬剤部 岸 大輔

座長：日本医科大学北総病院 薬剤部 岸 大輔

講演1(14:00-14:30)

**医療現場における副作用のスクリーニングツールの作成・社会実装**

東京薬科大学薬学部 益山 光一先生

講演2(14:30-15:00)

**継続的な副作用報告の質のモニタリング**

宮城県がんセンター 土屋 雅美先生

座長：千葉西総合病院 出雲 貴文先生

講演3(15:00-15:30)

**迅速な安全性情報提供のために自発報告の際の留意点**

PMDA 高足 葉子先生

講演4(15:40-16:25)

**医薬関係者からの副作用報告の質向上のためのガイダンス**

**Statement案の検討状況**

東北大学病院 小原 拓 先生

亀田医療大学 舟越亮寛

ディスカッション（質疑応答）（16:25-16:55）

まとめ・閉会 東北大学病院 眞野 成康先生

日病薬病院薬学認定薬剤師制度領域 II-3(2単位)（申請中）

※認定単位取得のため、ログイン・ログアウトの履歴管理と確認テストを行います。

※開始後30分以降の入室及び途中退室すると研修単位シールは発行されません。

※ご視聴の際は、録音、録画、画面の写真撮影はご遠慮ください。

共催：千葉県病院薬剤師会、AMED委託研究医薬品等規制調和・評価研究事業 副作用報告研究班

問合せ先：亀田医療大学 TEL：04-7099-2383（担当：舟越）

## 開催趣旨

# 医療機関の質の高い医薬品副作用報告に向けて 実効性のある対応を取り続けるための方策

・実効性のある対応を取り続けるためには、

(1) 経時的な実態把握のための調査

(2) 実態に即した規制やガイドラインの策定 が必要です。

・ 医薬関係者における副作用報告の実態がどのように変化したのかに関する実態調査、および、近年大きく変化している医療の現場に即した実効性のある「医薬関係者からの副作用報告の質向上のためのガイドライン」の確立に向けたフィージビリティ調査・環境整備が必要です。

この度、「医薬関係者における医薬品副作用報告の運用状況」、「医薬関係者からの副作用報告の質向上のためのガイドライン(仮)の開発状況を聴講頂き、臨床現場に即したものかどうか意見交換も含めて企画しましたのでご参加のほどよろしくお願い致します。

分担研究者報告(14:00-14:30)

医療現場における副作用のスクリーニングツールの作成・社会実装

東京薬科大学薬学部 益山 光一先生

研究協力者報告(14:30-15:00)

継続的な副作用報告の質のモニタリング

宮城県がんセンター 土屋 雅美先生

研究協力者報告(15:00-15:30)

迅速な安全性情報提供のために自発報告の際の留意点

PMDA 高足 葉子先生

研究代表者報告(15:40-16:25)

医薬関係者からの副作用報告の質向上のためのガイダンスStatement案の検討状況

東北大学病院 小原 拓 先生